

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	ALS における舌の MRI 所見の検証
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象は新潟大学医歯学総合病院に 2000 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで入院した方（20 歳から 99 歳まで）で、ALS と診断され、頭部および頸部 MRI を撮像した際に、舌が撮像されている患者さんを対象とします。また対象群として、同期間に多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、頸椎症性脊髄症と診断された患者さんを対象とします。
③概要	筋萎縮側索硬化症（ALS）は、運動神経が主に障害される、神経変性疾患です。ALS を正しく診断することは、その後の治療と、社会支援を行う上で、非常に重要です。ALS は、経過や神経学的診察、電気生理学的所見から、総合的に判断して診断しますが、診断に難渋することもあります。ALS に特徴的な MRI 画像所見は存在せず、ALS に特徴的な MRI 画像所見を見出すことは、早期の診断において、極めて重要です。本研究で患者さんの電子カルテの情報を参考にし、ALS における MRI での舌所見から、ALS の診断に結びつく異常がないかを、検証します。
③ 申請番号	2025-0212
⑤研究の目的・意義	患者さんの電子カルテ情報から、MRI における舌の所見を、詳しく調べます。これによって、ALS を早期に診断することで、早期の治療に役立てることができると考えています。
⑥研究期間	倫理委員会承認後から令和 2030 年 3 月 31 日までの約 4.5 年間
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	電子カルテに保存されている情報を用います。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する 情報の項目	診療記録：年齢・性別、病歴、診察所見、検査項目（血液検査、電気生理学的検査、MRI 検査）、治療内容、治療後の経過などを用います。
⑨利用する者の範囲	新潟大学脳研究所脳神経内科、新潟大学医歯学総合病院脳神経内科
⑩試料・情報の管理に ついて責任を有する者	新潟大学脳研究所 脳神経内科 助教 坪口晋太郎

④お問い合わせ先	住所 新潟市中央区旭町通 1-757 新潟大学脳研究所 脳 神経内科 電話番号 025-227-0666
----------	--